

令和4年度【島根県総合防災訓練】新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所開設・運営

<ポイント>

- 1) 地域の防災拠点となる学校体育館において避難所開設・運営訓練を実施
- 2) 防災士と地域住民が連携し、段ボールベッド・間仕切りなどを組み立てる、住民主体の実践的な訓練を実施
- 3) 「避難所における新型コロナウイルス感染症対策のポイント(島根県策定)」に沿った避難所運営とポイントの検証を実施
- 4) 訓練参加者に対し、島根県看護協会による衛生教育、日本防災士会島根県支部による防災教育を実施
- 5) 要配慮者の方が参加し、盲導犬と同伴避難訓練を実施

訓練日時: 令和4年10月16日(日) 9:30~12:30

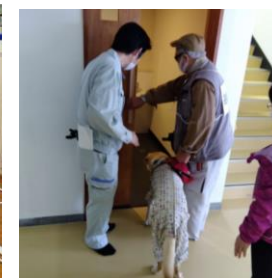
参加機関: 隠岐の島町、隠岐の島町飯田地区・東郷地区住民、日本防災士会島根県支部、島根県医師会、島根県看護協会、島根県管工事業協会、島根県LPガス協会、島根県社会福祉協議会、島根県老人福祉施設協議会、西日本電信電話(株)島根支店、阪神救助犬協会、島根県生活協同組合連合会、生活協同組合しまね、しまね国際センター日本赤十字社島根県支部、益田赤十字病院・・・16団体、約100名

訓練概要: 隠岐水産高校(指定避難所)にて新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所を開設・運営
孤立地区からの海路による避難者を受け入れ
応急救護所を設置し、体調不良者に対して救護措置を実施

住民主体の
避難所設営



盲導犬との
同伴避難



日本赤十字社・益田赤十字病院
による応急救護所での救護活動



参加者の声

- ◆今まで他人事であった「避難所」を自分事としてとらえることができた。
- ◆自主防災組織の必要性を強く感じた。
- ◆訓練を通して、防災意識を高めることができた。
- ◆段ボールベッドや間仕切りの組み立てが容易であった。
- ◆非常用持ち出し物を再度確認して準備したい。
- ◆盲導犬ユーザーと避難所運営サイド、地域住民との相互理解が深まる良い機会となった。また参加したい。

看護協会による衛生教育
防災士による防災教育



医師会・看護協会
による巡回診療



孤立地区からの
海上避難



管工事業協会による
給水所の設置

